一般会計補正予算を可決

第2回定例町議会

予算現額は14億5千万円に

第二回定例町議会が、六月十四日から七月十日までの会期で開かれました。

この議会で、一般会計補正予算第二号が可決されました。補正額は、千七百十七万円で、歳入歳出の予算現額は、十四億五千八百十三万円となりました。

おもな補正予算のうちわけは、つぎのとおりです（単位万円）。

〈歳　出〉

▽教育費――第四小学校用地（寺戸小字三ノ坪）を、公共用地取得公社で買受けたため、その用地買収利息支払いに、五百四十一万円など、あわせて六百八十三万円。

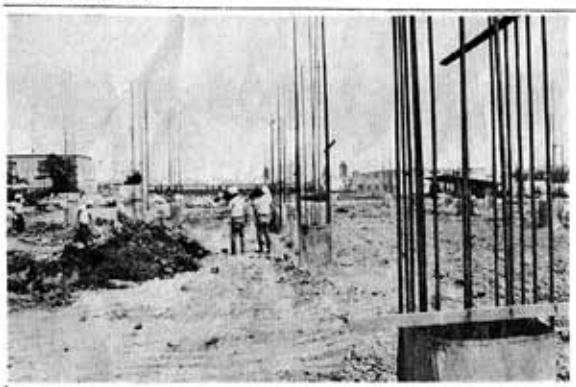
▽土木費――交通安全対策施設整備事業として、歩道新設工事費五百四十五万円（第二向陽小学校通学路の町道九号線長さ四百三十三メートル、阪急東向日町駅付近長さ四十メートル）など、あわせて五百四十七万円。

▽民生費――昨年国鉄から寺戸深田地区の国鉄用地千百五十二平方メートルを四千五百三十万円で買収、その用地を深田川児童公園として新設整備工事費二百万円、また第一保育所の便所改築工事費の追加分四十四万円などあわせて三百二十九万円。その他では、総務費で百三十三万円、衛生費で十三万円など、千七百十七万円です。

（深田川児童公園用地を整備）

〈歳　入〉

これら歳出をまかなう歳入では繰越金千二百六十二万円、国庫支出金三百万円などで充当します。



第4小学校建設に着手

開校予定は来年4月

来年4月開校をめざし、第4小学校（寺戸小字三ノ坪）建設に着手しました。

建設にさきだち、6月23日午前9時30分から、中山町長ら町関係者、議会関係者らが招かれ、起工式が行なわれました。式上、中山町長は、「ことしは向日町義務教育百周年にあたる意義深い年です。今後とも教育行政に全力をあげて取組んでいきたい。」とあいさつしました。

第4小学校は、本年度から昭和50年度にかけて建設していきますが、本年度は建設工事費1億5,100万円をかけ、普通教室9教室、給食室、便所などを建設します。この第4小学校の建設で、町内にある小学校は4校となりますが児童の増加に対応して、教育施設の整備事業を推し進めています。

新農業委員決まる

無投票で当選

農業委員会委員の任期満了に伴う選挙が七月十四日行なわれ、無投票で新農業委員が決まりました。

農業委員会は、選挙による委員十五名と町長が選任した委員七名（町議会の推せんする学識経験者五名、農業協同組合および農業共済組合が推せんする理事各一名）の二十二名で組織しています。

農業委員のしごとは、農民の地位の向上に寄与するため、

(一)農地について、耕作農民の権利を保護し、自作農の創設とその維持をはかり、農地などの利用のあっせんをしたり、争議を防ぐ。

(二)農業などに関する振興計画を立て実施する。

(三)農業技術の改良、農作物の病虫害防除など、農業生産の増進、農業経営の合理化、農民の生活改善につとめる。

(四)このほか、農民の代表として国や府市町村に意見を出したりする。

ことなどです。任期は三年。

新委員はつぎのとおりです。

▽選挙による委員

物集女　和田　弁一　53歳
　　富田　清治　39歳
　　山口　彦一　48歳
寺戸　建口　清　45歳
　　梶　幸一　57歳
　　長谷川　修　44歳
森本　斉藤　定雄　47歳
　　清水　富夫　49歳
　　清水　秀雄　54歳
鶏冠井　五十棲喜作　48歳
上植野　生嶋　仲一　49歳
　　木村　清一　45歳
　　藤田梁次郎　67歳
　　野口　宗一　69歳
　　藤田喜一郎　50歳

▽議会推せん委員

物集女　安田　清一　63歳
寺戸　岡崎　喜一　50歳
森本　中埜五左衛門　58歳
鶏冠井　鎌田　博一　59歳
上植野　小野己之助　66歳

▽農業協同組合

寺戸　岡崎　利一　68歳

▽農業共済組合

森本　清水　勝三　54歳

（敬称略、順不同）

また、八月八日、改選後初の農業委員会が開かれ、役員がつぎのとおり決まりました。

会長　中埜五左衛門
副会長　和田　弁一
府農業会議員　斉藤　定雄

投稿をお寄せください

今月号から新しく「わたしの意見」欄を5ページに掲載していますが、どしどし投稿をお寄せください。

この欄は、読者の欄ですから、日ごろ町政に関する意見、要望や毎日の生活の中でお感じになっていることなど、全般的なことがら何んでも結構ですから、お寄せください。お待ちしています。

投稿には、住所・氏名・職業・年齢などはっきり書いてお寄せください。とく名希望の場合は、その旨を書いてください。

＜投稿先＞

役場秘書人事課広報係（寺戸小字中野20）